

令和元年度 学校運営等に関する評価書

学校名	和歌山市立福島小学校
作成日	令和2年 2月 13日

1 教育目標

徳育・体育・知育の調和がとれ、豊かな感性と正しくたくましく生きぬく力をもった子どもを育てる。

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	- 県学習到達度調査で基本問題の正答数が県平均を上回る。 - 学校評価アンケート「わたしは毎日の勉強がわかる」で「とてもそう思う(よくわかる)」(児童90%)	「わたしは学校が楽しい」で「とてもそう思う(とても楽しい)」(児童90%) 「みんなの道徳」「心のとびら」の活用(教師100%) - いじめの解消率100%	「今、休憩時間は外で元気に遊んでいる」で「あてはまる」(児童90%) 「生活リズムチェック」で「朝ごはんを食べた」等(児童100%)	「学校は、学校の教育目標や子どもの様子を保護者にわかりやすく伝えている」で「とてもそう思う」「どちらかといえばそう思う」(保護者90%) - 地域の人材や資源を活用した取組を行った。(教師100%)
意見 重点 目標 に 対 する	- 担任以外にもう一人ボランティアの体制を設けてはどうか。 - 言語活動、読書活動推進はできている。 - ノートが取れていない子や問題が理解できていない子を見かける。もう一人先生がいればよい。	- いじめはいけないという認識ができていない。 - 異年齢集団で育てることは好ましい。	- 休憩時間に一生懸命遊んでいる子供が多い。 - 評価できる重点目標である。	- 地域と学校の連携が良く取れている。 - 学校間連携はわからない。
意見 取組 の 状 況 に 対 する	- おおむね取り組んでいる。 - 自主学習させる体制が整ってきた。	- 行動範囲が広がるにつれ、より一層、危険回避能力を育てる必要がある。 - 取り組みが進んでいる。	- 苦手な子供でもみんなと一緒にできることをさせてはどうか。 - マラソン大会復活は評価できる。 - スマホ等の啓発が望まれる。	- 学校の情報がよくわかる。 - 小中連携が必要だ。
意見 取組 の 成 果 と に 課 題 を 対 する	- テスト綴りや間違い直し、漢字検定の練習等、反復学習が必要である。 - おおむね成果が出ている。	- 校内に投書箱を設置してはどうか。 - 学校外の様子から成果が見える。	- 朝の見守りの際、空腹や寝不足を訴える子供がいる。特に休み明けに多い。 - 校内での外遊びはできていると思う。	学校から離れた新興住宅地の安全体制を整えてほしい。
見 改 善 年 度 方 法 に 向 対 け す の 意 見	- 図書室の本が少ない - 深く読むことも体験させたい。 - ディベートを取り入れてはどうか。 - 読書感想文を書かせてはどうか。	- 縦割り活動は継続すべきである。 - 体育や図工等でも縦割り班を活用してはどうか。 - 更に異年齢での取り組みを進める。	- マラソン大会は続けるべきである。 - 週末だけでも生活習慣ノートを導入してはどうか。 - スマホ依存についての保護者の啓発、危機意識の向上が必要だ。	「きしゅう君の家」の設置や通学路の安全を見直す必要がある。 - 中学校入学前に授業体験や部活見学を実施してはどうか。

3 その他のご意見

- 避難訓練のコースは万一の場合危険で歩けないであろうことも考えておく必要がある。
- 校門を入った時から皆声をかけてくれ自然と心が和む。授業も個々の意見を出し合い、いろんな過程を踏まえての解答に感心しました。
- グループ発表は自分の意見を伝えており自信がつくと思いました。子供たちは明るく学校の内外で挨拶ができています。
- スクールボランティアをすることで私自身地域の方との接触が増し、子供の見守りにも役立ちそうです。
- 図書室、テーブル・ソファ整いました。
- 理科、算数の学習意欲を高めるための工夫が必要だ。